用途別標準使用量(アスベスト吹付け材厚み30mmとした場合)

●封じ込め

用 途希釈液標準使用量希釈倍率備考封じ込め4.8kg/m2重量比 原液:水=1.4:2アスベストキラー

●除去時

用途	希釈液標準使用量	希釈倍率	備考
除去処理	0.2kg/m2	10倍	アスベストキラー
気中散布	0.03kg/m2	10倍	アスベストキラー
除去時集積材の飛散防止	0.1kg/m2	重量比 原液:水=1.4:2	アスベストキラー

●圧縮固化

用途	希釈液標準使用量	希釈倍率	備考
除去処理	0.2kg/m2	10倍	アスベストキラー
気中散布	0.03kg/m2	10倍	アスベストキラー
除去時集積材の飛散防止	0.1kg/m2	重量比 原液:水=1.4:2	アスベストキラー
圧縮固化	アスベスト吹付け材重量の20%相当		アスベスト吹付け材面積×厚さ×見かけ比重×0.8



国土交通大臣認定証



●製品性状等

荷姿

主成分

粘度

比重

無色透明

25.2kg

SiO2

12.5

1.38以上

18Lハイブリット缶

50~300mPa's

建材試験センター性能評価書



【荷姿】 200ℓドラム缶 18ℓ缶



アスベストキラーの長所

- ■不燃性のため、むだな石綿の再吹付けの 必要がなくなります。
- ■産業廃棄物処理などの二次的負荷を なくします。
- 作業員の安全性を高めます。
- ■除去工法に比べ、低コストを実現します。

総発売元:



株式会社 エループロテクト

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-6-2-1201 TEL03-6231-1151・FAX03-6231-1153

お問い合わせ先: info@ever-protect.com



アスベスト封じ込め技術

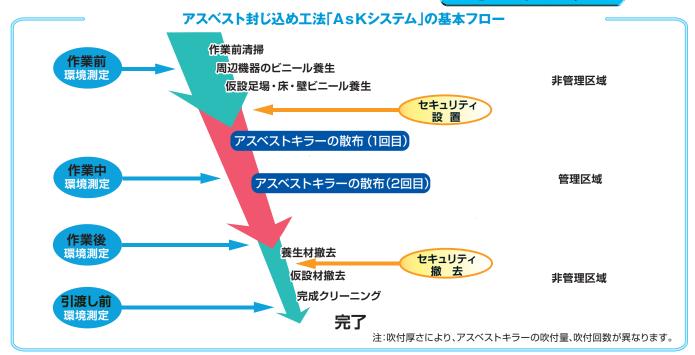
無機質系含浸固化形石綿飛散防止剤

国土交通大臣認定: MAEN-0022



アスベスト封じ込め標準工法

AsK システム



試験結果と考察

密度0.3g/cm3、厚さ25mmの耐火被覆材を対象に弊社独自の方法で強度比較を行った。

右図に示すとおり、無処理の場合と本システムによる施工後の強度差は顕著なもので、いずれの試験に 於いても無処理の場合と比較し、倍の成果が得られた。

現位置引張り試験に於いては、原材の強度が平均で τ =12g/cm2であったのに対し、施工後は平均強度 τ =34g/cm2に向上できた。

また、表面金鏝による平滑さ及び表面の強張りは 触感でも感じられ、安定性が確認できた。





《現位置引張り試験状況》

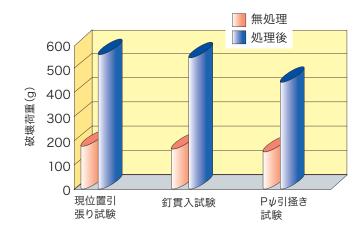




無処理施工後

《釘貫入試験状況》

《硬化•付着強度測定結果》



【試験方法】

※1;現位置引張り試験のプレートは4cm×4cmのプレートを使用 ※2;釘貫入値は10mm貫入させた場合の荷重で、発泡スチロール(ρ = 0.009g/cm3)で450g、スタイロフォームでは900g/(5mm貫入)であった。

※3;引掻き試験は基材にフックを差込、フックを引張って引き抜く荷重を測定した。発泡スチロールの場合で1,400g、スタイロフォームの場合は3,700gであった。





6年後の釘貫入力 3kg (一軸圧縮強度換算6.2kg/cm²) 施工時紅貫入力 900g

財団法人 建材試験センターによる 品質性能試験

■エアーエロージョン試験結果

乾湿繰返し処理なし(f/L)	乾湿繰返し処理あり(f/L)	
2.0	2.2	
2.3	2.0	
1.4	1.4	
1.9	1.9	
異常なし	異常なし	
	2.0 2.3 1.4 1.9	



■衝撃試験結果

	種類	試験体番号	外 観	くぼみ深さ(mm)	脱落の有無
		1	くぼみが認められた	6	無
	石綿飛散	2	同上	7	無
	防止剤塗布	3	同上	8	無
		平均	_	7	_
	無塗布	1	くぼみが認められた	11	無
		2	同上	10	無
		3	同上	11	無
		平均	_	11	_



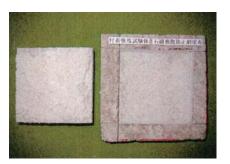
エアーエロージョン試験結果



石綿飛散防止剤塗布 衝撃試験結果

■付着強度試験結果

種類	試験体番号	付着強度(N/cm²)	破断深さ(mm)
	1	4.68	25
	2	5.02	27
石綿飛散	3	4.87	24
防止剤塗布	4	5.60	24
	5	3.97	18
	平均	4.83	24
	1	4.44	15
	2	4.24	6
無塗布	3	3.26	15
川坐無	4	3.68	31
	5	3.78	24
	平均	3.88	18



付着強度試験結果